



きいんぐみだより

2020年度11月号

尚徳福祉会生麦保育園

日に日に秋が深まり、戸外遊びが気持ちよく感じられます。葉っぱの色の変化に気が付いたり、散歩先ではどんぐりを探したりと、子どもたちも秋を身近に感じているようです。気温もぐんと冷えてきていますが、風邪や感染症に気を付けて元気に過ごしていきたいと思います。

☆友だちっていいな☆

友だちがお茶をこぼしてしまった時や、活動中に分からず立ち尽くしている子がいると、今までは保育者に「〇〇ちゃんが泣いてる」「できないって」と伝えることが多かったのですが、最近では保育者に言う前に近くにいる子が自分から「どうしたの?」「やってあげようか?」と声を掛ける姿が見られるようになってきました。給食後の椅子の片付けでは、「〇〇くんのもやっといた」と通りすがりに保育者にクールに報告してくれる子も。前までは「やってあげたんだ」「すごいでしょ」と言う子がほとんどでしたが、言葉に出さずに陰でかっこいい姿を発揮している場面がたくさん見られました。周りの友だちの様子を気に掛けられるようになり、散歩でも相手のペースに合わせて歩こうとする姿や、給食をグループごとで食べ始めるようになったことなど、毎日の生活の中で子どもたちの優しさが連鎖しているのを見て、微笑ましくなりました。友だちだけでなく、保育者が何を言うかを忘れていたり、困っているときにも「せんせいいたら〜」「だいじょうぶだよ〜たすけてあげる!」と前向きな言葉で励ましてくれ、一緒に解決策を考えてくれる頼もしいきりんぐみです。

～待ちに待ったバス遠足～

前日の予報では雨が心配でしたが、当日は晴れ間が見えるほどの遠足日和になりました。バスの中では隣の友だちとおしゃべりを楽しみ、ワクワクしている様子。動物園到着後は、各クラスで園内を見学しました。残念ながら楽しみにしていたコアラの展示はお休みでしたが、近くにあったオオカンガルーの展示場を見ると「入ってみたい」「たのしみ」と大興奮。柵がなく、手を伸ばせば届くほどの距離にいるカンガルーを見て小さな声で「こんにちは」と話しかける子や、手を振る子が多くいました。怖がっていた子も、保育者の足元に隠れながらじっと見つめていました。また、柵の中にいるオス同士が戦っている姿は迫力満点! 柵越しのカンガルーにくぎ付けになりじっと見つめていました。お弁当では、レジャーシートを忘れてしまった子がいると「入ってもいいよ」「一緒に座ろうよ」と優しく声を掛ける姿も。保育者が気付く前に、子ども同士で助け合っていました。おやつはバスの中で食べる予定でしたが、帰り道の途中にある広場で3クラス一緒に食べることができました。たくさん歩いて疲れた後のジュースとおやつは格別だったようで、食べたらすっかり元気になっていました。見学中でも足が止まる子はおらず、他のお客さんや飼育員さんに動物園内ですれ違おうと「こんにちは」と自ら挨拶をする子や、バスの運転手さんには「ありがとうございました」と目を見て伝える姿にとても感動しました。早い時間からお弁当や荷物を準備してくださった保護者のみなさま、ご協力ありがとうございました。



おしらせ・おねがい

- 11月6日(金) 秋の園外保育があります。詳細は後日連絡します。
- 9:30には朝の集まりが始まります。9:20分までの登園をお願いします。

